

創卷の辭

校長 阿部直平

早いものです。第二回の卒業式も目の前に迫りました。思えば、一昨年の五月、吉田館の一室を本部として開校の準備にとりかゝつた頃は、大きな希望を抱いては参りましたが紙一枚もたぬ新世帯でした。託兒所の運動場を教務室と決めて學校運営の計畫に参加した同僚は、山田、小林(政)、清水、金子、藤田、佐藤、稻田、酒井、小竹の諸君でした。學級十五教員の割當は貰いましたが當時は以上の小人數で店開きにとりかゝつたのです。

丸山町長殿を始め、町當局の御援助を町民各位の御協力によつて五月十七日盛大に開校式を擧げることが出来ました。

以來正義、親愛、努力の教育根本目標を掲げて全職員全生徒文字通りの精進を續けて参りました。高等實踐女學校から中俣教務主任を迎へたのを手始めに職員も充實して参りました。七月には父兄各位の御熱意と町内有志の御援助によつて中學校後援會も組織されました。職員と生徒以外は何もかも借りものばかりで誕生した中學校でしたが、追々自分のものが出來て行きました。生みの苦しみもありましたが、成長の喜びはより大きく私共を勵ましてくれました。女學校との二部授業には幾多の困難も感ぜられましたが昨年三月第一回の卒業生を送ることが出來てほつとした感じでした。卒業生の諸君に「泣くな、くどくな、ふくれるな」と住所表の一端にかきつけてやりましたが、これは私自身の教訓でもありました。第二年度の新學年からは急に十九學級三十一教員という大學校になりました。

實踐女學校の廢止によつて校舎、設備をそのまま引繼ぐことになりました。學制改革で青年學校も廢止の運命にあい、その校舎も中學校が使用することになりました。

併し二部授業からの解放には至りませんでした。不自由な學習が尙續けられねばなりませんでした。

不自由な中にも堪えず新教育の充實を計り構想を新たに於て効果の達成を期して精進して参りました。昨年五月には當局の認めるところとなり、縣の研究指定校の候補校にあげられ、九月には縣内三十校の研究指定校の一つに數えられ、モデルスクールとして出發することになりました。

新潟軍政部からメーヤー先生の御視察もありました。メーヤー先生からは「中學校らしい中學校を見た」と大變おほめの言葉をいただきました。産元會社の御寄附、P・T・Aの多額の御醸出、町内有志各位の御援助によつて理科室の面目を一新することが出来ました。木工機械を完備した工業教室も新設されました。エアーガス發生装置、ユニオン短波顯微鏡、水道まで取附けた生徒實驗機、動力利用の木工諸機械等何れもモデルスクールの名にふさわしい優秀な設備です。かくして縣内屈指の中學校としての地位を築き上げることが出来ました。一方校舎建築運動も促進され、町民の熱意を結集してモデルスクールの建築に迄進まうとして居ります。

教育に透徹した識見と斬新壯大なる構想の持主であられる丸山町長を筆頭に町當局の教育に對する御理解と町會議員諸氏の燃ゆるが如き愛町の精神により必ずや近き將來に於てモデルスクールの宗成を見るものと期待されます。又近くは職員生徒の手によつて校歌の制定も見ることになりました。

教育設備の充實に伴つて職員は教育の實績を擧げるために奮闘しています。毎日のように放課後新教育のあり方について討議を重ねて居ります。先には研究指定校としての教育目標がきまり、その實施計畫もたてられました。が、新年度の我が見附校こそは最大苦難の年と今からこの對策が練られています。生徒は九百名から千百五十名に、職員は三十二名から四十名へ大膨脹です。苦しい二部授業が續けられねばなりません。

縣下にその雄を誇つて行かうといふのです。並大抵の努力では出来ないことです。

併し苦難が大きければこれを乗り越える快樂も亦大です。私共は教育道を邁進するのみです。教育の實績はあくまでも生徒によつて評價されねばなりません。生徒諸君は學習意欲を旺盛にして二部授業の

悪條件を克服せられるよう望みます。

紙一枚持たなかつた創立當時を顧る時、自己の成長に驚くものがあります。この時に校友會雑誌「あゆみ」の生れることは至極當然のこととせう。「あゆみ」は我が見附中學校成長の記録です。學校の發展充實と同時に「あゆみ」の發展をも祈つて止みません。

(一九四九・三・二)